

「実習」	教科	工業	単位数	6単位
	学科、学年、組	自動車科、2学年、3組		
使用教科書	「新版機械実習」(実教出版株式会社)			
副教材等	「3級自動車ガソリン・シャシ」(自動車整備振興会)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	各テーマにおいて、これから「何を学ぶのか」が明確に理解できているか。 問題解決の能力を身に付けているか。	30%	・定期考査
思考・判断・表現	実習を通して工業の本質の理解に役立つ各専門分野の 基礎的、基本的な技術を含んだ総合的な題材を、一層 効果的に進めているか。	35%	・実技テスト ・レポート内容 ・実習に取り組む姿勢態度等
主体的に学習に取り組む態度	学習の目標をしっかりと把握し、身体を総合的に働か しながら学習活動を積極的に取り組んでいるか。	35%	・実技テスト ・レポート内容 ・実習に取り組む姿勢態度等

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	溶接実習 計測実習 エンジン実習 シャシ実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス溶接機器の取扱いに注意し安全作業をする。</li> <li>・アーク溶接機の基本操作習得する。</li> <li>・分解方法、組立方法が理解できる。</li> <li>・主部品の点検、修正方法が理解できる。</li> <li>・測定具の使い方が理解できる。</li> <li>・エンジンの基本的構成を理解する。</li> <li>・分解方法、組立方法が理解できる。</li> <li>・クラッチ、トランスミッションの構造について理解している。</li> <li>・各部品名について理解している。</li> <li>・減速比について理解している。</li> </ul>
2	フライス盤実習 電気実習 エンジン実習 シャシ実習 旋盤実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フライス盤の構造が理解できているか。</li> <li>・操作方法を理解しているか。</li> <li>・六面体の加工手順がわかっているか</li> <li>・作品の平行度・真直度が正しく加工できているか。</li> <li>・オームの法則について理解している。</li> <li>・回路計の取扱を理解している。</li> <li>・キルヒホッフの法則について理解している。</li> <li>・ホイストンブリッジにより抵抗値を測定できる。</li> <li>・シンクロスコープの取扱ができる。</li> <li>・グラフの作図が正しくできる。</li> <li>・バッテリーの構造と機能を理解し、正しい取り扱いができる。</li> <li>・スタータモータの構造を理解できる。</li> <li>・オルタネータの構造を理解でき、性能検査を実施できる。</li> <li>・ブレーキの種類と構造について理解できる。</li> <li>・実車ブレーキの分解、組付の作業態度。</li> <li>・作品の寸法を許容寸法通り切削する。</li> <li>・段付き削りを習得する。</li> <li>・テーパ削りの方法を理解する。</li> <li>・ねじ切りの基礎を習得する。</li> </ul>
3	リレーシーケンス実習 エンジン実習 シャシ実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動制御の種類について理解できる。</li> <li>・シーケンス制御の構成部品について理解している。</li> <li>・ブール代数について理解している。</li> <li>・論理回路・素子について理解している。</li> <li>・点火装置の構造を学ぶ。</li> <li>・各種点火回路(装置)について理解する。</li> <li>・制動倍力装置の構造と働きについて理解している。</li> <li>・構成部品名を理解している。</li> <li>・トランスミッションの分解、組付作業態。</li> <li>・サスペンションの種類と構造について理解している。</li> <li>・各部品名を理解している。</li> <li>・ホイールライメントについて理解している。</li> </ul>